

## 2016 年度事業報告

### I. 千葉県内の社会的養護下の子どもへの措置解除後の自立支援事業

・多様な立場の人の参加により自立支援基金運営委員会を立ち上げ、措置解除後の子どもたちの支援について検討しました。

会議日程：6月22日(水)・8月24日(水)・10月26日(水)・12月20日(火)・1月25日(水)

・自立支援基金運営委員会の中では、子ども若者をめぐる社会的な状況などについて共通認識を図るため、座長の宮本みち子さんを講師に「“子どもの貧困”の実態と取組み」をテーマに学習しました。また、自立支援についてすでに実績のある、協同組合若人自立支援機構、NPO 法人子供の教育・生活支援『アニー基金』プロジェクト、NPO 法人ブリッジフォースマイルから話を聞き、私たちの自立支援基金をどんな基金にするのかを検討をしました。

・基金の名称は、「ちばこどもおうえんだん こども・若者未来基金」としました。

・2017年2月11日(土)に、こども・若者未来基金設立記念「社会的養護のこどものくらしと自立を考えるシンポジウム」を開催し、94名の参加がありました。

・ボランティア登録等にはいたっていませんが、ちばこどもおうえんだんが開催した里親制度推進シンポジウム等のなかで、「自分にできることは」「何かお手伝いしたい」と言うような声が多く見られます。このような思いのある人とつながり、連携をしていくことが今後の課題です。

### II. 貧困家庭など、家庭に課題を持つ子どもの支援事業

・里親家庭支援・こどもサポートセンターについては、人的理由と資金的理由から、立ち上げはできませんでした。

・子どもを取り巻く現状を知り、共に考えるきっかけづくりとして、また、既に子ども家庭支援に関わっている団体や人のつながりづくりのきっかけづくりを目指し、2017年1月15日に、「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin ちば」を、実行委員会の一員として開催しました。当日は、509人の参加がありました。児童養護施設関係者、弁護士、生活困窮者の支援者など、子どもの支援を実際に行っている方々のリレートークでは、地域の子どもの現状と支援について考えるきっかけとなりました。

### III. 里親家庭支援について

・2016年度も、千葉市より里親制度推進事業を受託しました。2015年度は里親制度について調査研究をし、千葉市の里親制度推進について提案を行いました。2016年度はその提案に基づき広報啓発を中心に事業を行いました。

・2015年度の里親制度推進検討委員会から引継いだ里親制度推進実行委員会を開催し、さまざまな事業について計画・実行しました。

・12/6の実行委員会では、「子どもの権利擁護と里親」について弁護士の中溝明子さんを講師に学習しました。

会議日程：4月26日・7月5日・10月4日・12月6日・2017年2月7日・3月25日

## シンポジウムの開催

・広く一般の人に里親制度を知ってもらうために、シンポジウムを2回開催しました。

【春】千葉市里親制度推進シンポジウム「聞こう！知ろう！つなげよう！子どもたちの未来を・・・」

○日時 5月28日（土） 15：00～16：30

○場所 千葉市ビジネス支援センター（きぼーる13階）

○内容

「施設機能を活かした里親支援」 児童養護施設 千葉みらい響の杜施設長 渡部靖久さん

「家族として迎え、地域とともに生きる」 埼玉県里親会 副理事長 石井敦さん

「里子との暮らし」 千葉県里親会 田口誠一さん

○参加実績／参加目標 102人／100人

【秋】千葉市里親制度推進シンポジウム

「知ってほしいな！里親のこと～社会的養護が必要な子どもたちのために、私たち大人ができること」

○日時 10月8日（土） 13：30～16：00

○場所 美浜文化ホール メインホール

○内容

第1部：「里親制度の振興を願って～里親にも子育て支援を！」

淑徳大学総合福祉学部教授・同大学院教授 柏女 霊峰さん

第2部：「知ってほしいな、里親家庭のこと」 静岡県里親 岩崎 真知子さん

○参加実績／参加目標 144人／200人

## 里親入門講座の開催

・小さな単位で里親について知る機会を増やし、興味関心のある人に直接話をする機会として、里親入門講座を市内6区で開催しました。また、里親制度推進実行委員会メンバーの所属する団体主催の入門講座なども開催しました。

・またモデル事業として、支援のネットワーク作りを目指して稲毛区で、施設を中心にした里親の創出を目指して中央区で、いずれも3回ずつ入門講座を開催しました。

（1）市内6区

①実施内容

日時	区	会場	内容	参加者数
6月4日（土） 10：30～12：00	若葉区	千城台コミュニティセンター	ファミリーホーム 平林智之さん「ファミリーホームを開設して1年」	6人
6月12日（日） 10：30～12：00	緑区	鎌取コミュニティセンター	里親 井本義樹さん・千鶴さん「施設職員、里親になる」	6人
6月17日（金） 13：00～14：30	中央区	千葉市生涯学習センター	ファミリーソーシャルワーカー及川悠香さん「里親家庭へ バトンタッチ」	10人
6月22日（水） 14：30～16：00	稲毛区	穴川コミュニティセンター	ファミリーホーム 平林智之さん「ファミリーホームを開設して1年」	5人
6月30日（金）	美浜区	高洲コミュニティ	児童養護施設の野の花の家 宇田川	8人

18:30~20:00		センター	政男さん「社会的養護から巣立つ時」	
7月9日(土) 10:30~12:00	花見川区	畑コミュニティセンター	児童養護施設ほうゆうキッズホーム 馬場敏さん「これからもここがぼくの家」	7人

参加者数：のべ42人

(2) 実行委員会参加団体主催

①実施内容

日時	主催	対象	内容	参加者数
8月23日	コープみらい	組合員役員	制度説明・里親体験談	30人
1月20日	生活クラブ虹の街	組合員役員・一般組合員		15人
3月24日	パルシステム千葉	組合員役員・一般組合員	制度説明・里親体験談	30人

(3) その他

①実施内容

日にち	会場	対象	内容	参加者数
5月10日	立正佼成会千葉教会	立正佼成会会員	千葉市における里親推進の状況・ 里親制度の説明・里親体験談	200人
10月26日	花見川区保健福祉センター	ファミサポ提供 会員	里親制度の概要説明	8人
10月27日	美浜区保健福祉センター	〃	〃	10人
10月28日	若葉区保健福祉センター	〃	〃	8人

(4) 地域資源活用による普及啓発(モデル事業)

①中央区

日にち	会場	対象	内容	参加者数
1月28日	千葉みらい響 の杜学園	里親に興味のある 地域の方	里親制度の説明	9人
2月17日				10人
3月20日				8人

②稲毛区

日にち	会場	対象	内容	参加者数
11月18日	生活クラブいなげビレッジ 虹と風スペース虹	里親の支援に興味のある 人・里親に興味のある人・一般	里親制度の説明・里親の求める支援 とは 1/19・2/28は、里親体験談	5人
1月19日				4人
2月28日				6人

## パネル展示

- ・千葉市の3つの施設に配置されている里親支援専門相談員と連携し、市内でパネル展示を行いました。
- ・5/30～7/9 市内6区をめぐるパネル展示：5/30～6/6（若葉区）ラパーク千城台 6/6～6/13（緑区）緑区役所 6/13～6/20（中央区）生涯学習センター 6/20～6/27（稲毛区）稲毛区役所 6/27～7/4（美浜区）マリンピア 7/4～7/9（花見川区）畑コミュニティーセンター
- ・9/17 青少年の日フェスタ ・9/29～10/5 きぼーる

## 新生児委託

- ・愛知県は、新生児里親委託を昭和57年より開始しました。いわゆる「愛知方式」と呼ばれ、特別養子縁組を前提として新生児の里親委託を行う方法は、全国から注目されています。11月に、愛知県を訪問し、「愛知方式」についてお話を伺いました。
- ・また、愛知県以外の実績のある自治体（北海道・千葉県・新潟県・岐阜県・大分県）について、新生児委託のきっかけや状況、体制や産院との連携等について、電話でヒアリングを行い、千葉市へ報告をしました。

## その他の活動

- ・シンポジウム、里親入門講座で里親に興味関心のある人へ向けてのフォロー活動として、9月23日(金)に児童相談所見学会を開催しました。参加者は、名。日ごろ入ることのない児童相談所を見学することで、「ここに来る子どもたちの最善の利益とは」「また、児童相談所に子ども達が来なくてもいい社会にするにはどうすればよいのか」など参加者がそれぞれ考えるきっかけとなりました。
- ・千葉市内3施設の里親支援専門相談員の皆さんと連携をし、事業をすすめました。また里親支援専門相談員さんが中心になって行っている市内のパネル展示ややまびこキャンプなどに協力しました。
- ・千葉市内の里親さんより学習ボランティアの要望があり、交通費の補助と言う形で学習ボランティアの支援をしました。次年度は、さらに対象者の枠を広げていきたいと思います。
- ・里親啓発のためのチラシ（養育里親・養子縁組）、企業向けチラシを作成しました。今後の里親啓発に活用します。
- ・里親専用HPを作成しました。
- ・2月26日にコープみらい「きやっせ物産展2017」にて里親についてアンケートを行い、来場者の中から99人が回答しました。

## IV. 啓発・広報事業について

### 1. 啓発事業

- ・千葉市里親制度推進の一環として、広く一般の人に里親制度を知ってもらうために、シンポジウムを2回開催しました。
- ・児童虐待防止に関する活動として、子どもの支援を行っている団体や千葉児童福祉施設協議会と連携し、11月3日（木・祝）千葉市のきぼーるにて「ちばこどもおうえん広場2016&オレンジリボンキャンペーン」を開催しました。当日は、活動紹介のパネル展示、人権懇話会、表現あそび、ステージ企画、オレンジバイクなど、さまざまな形の企画を行いました。市内の大学からのボランティア参加もあり、施設関係者、民間、行政など多様な人の関わりの中で開催し、当日はのべ560人が集いました。

・2017年12月に行われる「日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会」の実行委員会に参加しています。「ちばこどもおうえん広場2016&オレンジリボンキャンペーン」は、日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会の民間企画のプレイベントの位置づけで行いましたが、ちば大会が終わったあとも継続的に子どもの虐待防止を考える活動として継続していきます。

・2017年2月11日（土）に、こども・若者未来基金設立記念「社会的養護のこどものくらしと自立を考えるシンポジウム」を開催し、社会的養護のおかれている現状について発信しました。

・また、以下のイベントに団体の活動や社会的養護下の子どもの自立や里親制度についてのパネル展示等で参加しました。

4/23（土）24（日）こどもフェアin ちば2016（こどもフェアin ちば実行委員会主催）：来場者500人

11月12日（土）虹いろフェスタ（生活クラブ虹の街主催）：来場者約4,000人

2月26日（日）きやっせ物産展2017（コープみらい千葉県本部主催）：来場者約30,000人

・パルシステム千葉の役員研修の中で、「社会的養護下の子どもについて」「ちばこどもおうえんだんについて」「自立支援の必要性と自立支援基金について」などについて話をしました。これまで社会的養護下の子どもについてあまり触れることの少なかった役員さんに、現状を知ってもらおうきっかけとなりました。

## 2. 広報事業

・ニューズレターを年3回発行しました。活動報告を中心に、会員や地域の人に知ってほしい情報などを発信しました。

・11月にリーフレットをリニューアルしました。ベビーピンクを基調とし、HPなどともイメージをあわせました。

・2月のこども・若者未来基金設立記念「社会的養護のこどものくらしと自立を考えるシンポジウム」にあわせ、基金のリーフレットを作成しました。今後の寄付募集などに活用します。

・facebookで随時情報を発信しました。ページへの「いいね！」の数は246です。

## V. 調査研究活動事業

・千葉市里親制度推進事業の中で、新生児委託について先行している愛知県を11月に訪問し、「愛知方式」についてお話を伺いました。

・愛知県では、全国に先駆け昭和57年より養子縁組を前提とした新生児委託を開始し、平成27年度末までの34年間に195名の新生児委託を実施しています。「愛知方式」とは、特別養子縁組を前提として新生児（生後4週間に満たない乳児）の里親委託を行うことを言います。他県では、新生児の病気や障害の生有無を把握することが難しいため、おおむね1～2歳になるまで乳児院で養育した後、里親委託することが多いようです。また愛知県では、実親の対応、里親の対応を個別に丁寧に進めることで、不調が少ないことも特徴です。

・また、愛知県以外の実績のある自治体（北海道・千葉県・新潟県・岐阜県・大分県）について、新生児委託のきっかけや状況、体制や産院との連携等について、電話でヒアリングを行い、千葉市へ報告をしました。

・それぞれの自治体とも、新生児委託の相談が増え始めたのは10年くらい前から、「育てられない」と

言う相談が増えてきたことがきっかけです。北海道は、面積の広さゆえ、里親支援専門相談員との連携が非常に密になっているようです。千葉県は、特定妊婦の把握がすすむ中で、対応がきちんと始まった様子。岐阜県は、愛知県とお隣と言うこともあり、愛知県に習い20年ほど前から新生児委託の取組みを始め、大分県も愛知を参考にしながら取り組んでいます。どの自治体も、産院との連携を非常に重要視していますが、その対応は画一的なものではなく、それぞれのケースごとに対応を行っている様子が伺えました。

## VI. 組織運営

### 1. 会員拡大について

- ・年間を通じてさまざまなイベントの際に、会員加入を呼びかけました。実績は、以下の通りです。

会員種別	個人会員		団体会員	
	実績	目標	実績	目標
運営会員（正会員）	17人	20人	5団体	6団体
おうえん会員（賛助会員）	91人	60人	12団体	15団体

- ・会費納入の口座引き落としについては、今年度検討できませんでした。

### 2. 認定 NPO について

- ・寄付者が寄付控除を受けられる仕組みについては、認定 NPO についての調査を行いました。来年度、認定 NPO を取得できるよう準備をしていきます。

### 3. 他団体との連携について

- ・11月3日（木・祝）千葉市のきぼーるにて「ちばこどもおうえん広場 2016&オレンジリボンキャンペーン」を、さまざまな団体と連携し開催しました。千葉県児童福祉施設協議会、子育て関連の NPO など7団体で実行委員会を構成し、ちばこどもおうえんだんは実行委員会の事務局を担いました。児童福祉の専門家と NPO などが一緒になって1つのイベントを実施することは、これまでにあまり例を見なかったのですが、ちばこどもおうえんだんが関わることで双方をつなぐことができ、活動の広がりが見られました。

実行委員会参加団体：千葉県児童福祉施設協議会・NPO 法人子ども劇場千葉県センター・NPO 法人千葉こどもサポートネット・こども人権ネットちば・千葉市地域で生きる会・日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会実行委員会・NPO 法人ちばこどもおうえんだん

- ・2017年12月に行われる「日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会」の実行委員会に参加しています。この学会は、いわゆる専門家の方の集まりですが、ちばこどもおうえんだんが実行委員会に加わることで、民間への情報発信に広がりが見えています。

- ・「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin ちば」実行委員会を、千葉県社会福祉協議会、千葉県社会福祉士会とちばこどもおうえんだんの3者で構成し、2017年1月15日の開催に向け準備を行いました。また、全国ツアーキックオフイベントでは千葉の実行委員会を代表して、理事長が登壇し、「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin ちば」のアピールをしました。